

## 感染症を知り、感染予防ができる保育所づくりへ

新型コロナウイルス感染症の流行で子どもたちも保護者も職員も、多くの不安を抱えていると思います。

新型コロナウイルス感染症はまだ治療法や予防法が十分に確立されていません。そのため、まず「知ること」が大切です。

### 「ウンチが臭わない!？」

○香川県内のある保育所で、保育士さんが発熱、体のだるさ、嗅覚異常等を感じ、病院で検査をしたところ 新型コロナウイルス感染症と分かりました。

この時、保育士さん同士で「(子どもの)ウンチが臭わない」と話しをしたところから病院受診に繋がったそうです。

○その後、職員全員と園児のPCR検査をした結果、職員11名と園児2名が新型コロナウイルスに感染していることがわかりました。

○もし、保育士さんがお互いの症状を職場で相談できていなければ、どのような結果になっていたでしょうか。この出来事から、自分の体調を相談しやすい環境や、体調が悪い時は休める体制作りが感染症を早期に発見したり、感染拡大を抑えることに重要であることが分かります。

### 〈お願い〉

新型コロナウイルス感染症は現状では誰が罹(かか)ってもおかしくはありません。罹(かか)った人は決して悪くありません。もし、罹(かか)った人がいても、それが職員でも子どもでも、治って保育所に戻ってきたときには「よく頑張ったね」「また一緒に遊ぼうね」と優しい声をかけてあげられる環境づくりをお願いします。罹(かか)った人がつらい思いをしたり、いじめに繋がることがないように、職員と保護者、子どもたちにこのような共通認識を持っていただければと思います。

### 「保育所でクラスターを発生させないためには？」

クラスター(小規模な患者の集団)を発生させないことが、子どもと保護者、職員が、安心して健やかな保育所生活を送るためにも望まれることですが、実際に何から始めれば良いのでしょうか。

#### クラスター発生の要因分析

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ・保育は「3密」となりやすい環境    | ・県外流行地への移動・滞在等       |
| ・長時間の会議、密接となりやすい休憩室 | ・皆が共通してよく触れる場所が多い など |

### 《①1人1人ができる感染対策》

- 3つの密を避けること
- 咳エチケットを守ること
- 手洗い、換気、消毒は丁寧に行うこと
- 体調が悪い時は無理せず、まず一旦お休みして、体調が回復してから登園(出勤)すること



## 《②保育所における感染対策》

<p><b>接触感染対策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の中で皆が接触しやすい箇所(テーブル、オムツ交換台、ドアノブ、電気のスイッチ、玩具、階段の手すり、椅子の背もたれ等)を消毒用アルコール等で定期的な清拭消毒</li> <li>・マスク、エプロン等ウイルス付着の可能性のあるものをテーブル等に置かない</li> <li>・食事前やトイレの利用後だけではなく、<u>オムツ交換の前後も手洗い・手指衛生を徹底</u></li> </ul>
<p><b>飛沫感染対策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咳エチケット</li> <li>・マスクの着用について検討 →低年齢児を除き咳などの呼吸器症状があるときは必ず着用</li> <li>・職員会議や休憩時間の過ごし方 →<u>空間的距離、時間的間隔</u>をとるために人数、場所、時間の検討</li> <li>・<u>換気</u>(頻度：1時間に1回、3～5分)</li> </ul>
<p><b>健康管理</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員・園児の<u>健康観察と連絡体制</u></li> <li>・職員は、次の症状がある場合に申し出やすく、お休みできる体制づくり 発熱、咳、肺炎、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、味覚障害、嗅覚障害等、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐</li> </ul>



## 《さいごに～ストレスにも注意しましょう～》

新型コロナウイルス感染症にかかるのではないかと不安、登園・外出の自粛、保育所行事の中止という状況が続いています。非日常の連続では誰もが通常の行動や反応ができません。

新型コロナウイルス感染症の予防対策も大切ですが、自分自身では気づかないうちにストレスを抱えている場合もありますので、保育所に通う子ども達や職員の状態に気づけるようにお互い支え合っていくことも大切です。また、定期接種のワクチンは接種推奨年齢になったら遅れないように受けておきましょう。

<p>こんな症状はありませんか？</p>	<p>(体の症状)：頭が痛い、お腹が痛い、眠れない、疲れやすい (行動面の変化)：落ち着きがない、食欲が増える(減る) いつもよりよくしゃべる(よく泣く) 気分の浮き沈みが激しい等 ※子どもの場合：しがみついて離れない、言動が幼い 夜尿(おもらし)、わがままになる等</p>
<p>症状があれば(子ども Ver. )</p>	<p>子どもの話を聴いたり、一緒に体を動かすことで症状を和らげることにつながります ●聴く(子どもの気持ちを否定しない、頑張りをほめる) ●体を動かす(ストレッチやリズム体操、お絵かき、料理等)</p>
<p>症状があれば(大人 Ver. )</p>	<p>●リラックス方法を見つける ●相談先を見つける</p>

※参考ホームページ

●香川県精神保健福祉センター

[https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/seishinhoken/upfiles/socn8u170303233529\\_f36.pdf](https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/seishinhoken/upfiles/socn8u170303233529_f36.pdf)

●厚生労働省ビデオメッセージ集

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10996.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10996.html)